

大町ダム、高瀬川の「瀬切れ」 解消のための「追加放流」を終了！

大町ダムでは、9月20日に高瀬川において「瀬切れ」の発生が確認されたため、ダムから9月20日8時30分より、通常放流量に追加して水を流す「追加放流」を開始し、9月21日8:30に終了しました。

追加放流は8月から開始しており、今回で8回目です。

1. 経過

8月 9日～14日 毎秒1.0m³の追加放流を実施

追加放流量:約36万m³

8月16日～18日 毎秒0.5m³の追加放流を実施

追加放流量:約15万m³

8月20日～24日 毎秒1.0m³の追加放流を実施

追加放流量:約61万m³

8月27日～30日 毎秒0.5m³の追加放流を実施

追加放流量:約14万m³

9月 2日～ 3日 毎秒0.5m³の追加放流を実施

追加放流量:約4万m³

9月 7日～10日 毎秒0.5m³の追加放流を実施

追加放流量:約12万m³

9月13日～19日 毎秒2.0m³の追加放流を実施

追加放流量:約69万m³

※これまでの追加放流量累計:約210万m³

9月20日 8:30 現地にて瀬切れの発生を確認

9月20日 8:30～ 毎秒2m³の追加放流を開始

9月21日 8:30 高瀬川の水位の回復を確認したため、追加放流を終了

※9月20日～21日の追加放流総量:約12万m³

※追加放流量累計:約222万m³

2. 瀬切れの定義

瀬切れとは、川の流れが途中で途切れてしまう現象です。川本来の「流れ」をなくし、川の一部が途切れることにより魚類等の高瀬川に棲む生物に大きな影響を与えます。

大町ダムでは、河川水深が対象魚類の移動できる限界の水深である約15cmを下回った状態を「瀬切れ」としています。

対象魚類・・・ウグイ、アユ、ヤマメ、カジカ 等